



## 国立競技場とりこわし工事 経過報告 ①

### 国立競技場の樹木が楽器として子供たちの手に ②

SuperSports XEBIO Fリーグ2015/2016代々木セントラル第1節

### 東京セブンス2015 セブンス日本代表 15年ぶりの大会8強入り! ③

スポーツ施設管理運営に関する調査報告レポート (第4回)



# 国立競技場 とりこわし工事

## 経過報告

国立競技場とりこわし工事は2015年3月から競技場本体の躯体解体をスタートしておりましたが、スタンド内側から順に作業を進めていき、5月上旬には地上部の躯体解体を、6月末時点では地下部の基礎解体も終了しました。引き続き、建設発生土を搬出する大規模な掘削工事を行い、9月末にはとりこわし工事を完了する予定です。

新国立競技場は、とりこわし工事完了後の10月から建設工事をスタートします。ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を筆頭にあらゆる感動を生み出す舞台として、日本が世界に誇れるスタジアムになることを期待してお待ちいただければと思います。



スタンドの解体



躯体解体前(2月15日)



躯体解体途中(3月15日)



地上部躯体解体(5月1日)

SUPERSPORTS XEBIO

Fリーグ

2015/2016

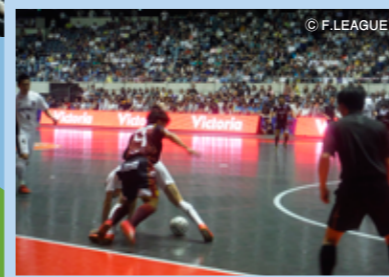
代々木セントラル第1節

ゴールデンウィーク期間中の5月2日(土)・3日(日)、『Super Sports XEBIO Fリーグ2015/2016』が開幕しました。Fリーグは2007年の創設1年目から毎年国立代々木競技場第一体育館で開幕し、9年目を迎える今年は、タイトルスポンサーやオフィシャルスポンサーが一変されるなど、新たな幕開けとなりました。

大会出場チームは昨年と同様12チームで、3回戦総当りの全33節が行われた後に上位5チームによるプレーオフを経て優勝チームが決まります。代々木セントラル第1節では2日間で計6試合が行われ、オープニングマッチのフウガドールすみだvs名古屋オーシャンズの一戦には4,200人を超える観客が新シーズン幕開けの戦いに熱い視線を送っていました。各日2試合目と3試合目の合間には、今年の公式テーマソング『Brave』を歌うナオト・インティライミさんによるライブも披露され、会場は大いに盛り上がりました。



開会式



試合中

また、大会期間中は付随イベントとして体育館の外でフリーマーケットや3×3.EXE FESTIVALなども開催され、両日とも多くのお客様で賑わいました。Fリーグの試合だけでなく、ライブやフリーマーケットなどのイベントも実施されたことにより幅広い方々にお楽しみいただけ、フットサルファンの拡大にもつながったのではないのでしょうか。

大会当日は天候にも恵まれ、2日間の来場者数は第一体育館と外でのイベントを合わせて延べ15,000人以上にもなりました。

今回はイベントの展開範囲も広く、ゴールデンウィーク期間中の開催ということもあり、安全面等において十分な配慮を必要としましたが、トラブル等の発生もなく無事に終了しました。これからも大会やイベントが安全に実施されるよう、職員一同施設管理に努めてまいります。



第一体育館外のイベント



ナオト・インティライミさん(中央)

## 国立競技場の樹木が 楽器として子供たちの手に



コカリナの贈呈式

日本スポーツ振興センターは、国立競技場とりこわし工事に伴って伐採した樹木の一部を「NPO法人日本コカリナ協会(会長:黒坂黒太郎氏)」に譲渡しました。このたび、同協会がこの樹木を活用して作製した楽器「コカリナ」\*が、国立競技場近隣小学校の子供たちへ贈呈されました。

\*コカリナは、もとは東欧の民族楽器で、長野オリンピック会場で子供たちが演奏したことで知られています。

2015年5月9日(土)に渋谷区立千駄谷小学校において、今回作製されたコカリナの贈呈式が行われました。当日は、コカリナの贈呈式と併せて、黒坂氏夫妻による演奏会、子供たち代表へのミニレッスンも行われ、コカリナを手にした子供たちは、目を輝かせ、「簡単だった」、「難しかった」と感想を述べながら、やさしい音色を楽しんでいる様子でした。

また、同月27日(水)には新宿区立四谷第六小学校の子供たちへの贈呈式、6月20日(土)には同校における演奏会が行われました。

これまで、スタンド座席など、国立競技場の設備・物品等が全国各地の施設に引き継がれてきましたが、国立競技場の長い歴史を見守ってきたケヤキやカエデなどの樹木も、日本コカリナ協会や関係者の方々の取り組みにより、「コカリナ」という楽器としてよみがえり、このたび、約300人の子供たちの手に渡りました。

今後、同じく国立競技場の樹木で「和太鼓」が作られるとも聞きます。このような皆様の取り組みにより、これからも『国立競技場』が多くの方々の心に残り、愛され続けていくことを願っています。



贈呈されたコカリナ



## セブズ日本代表 15年ぶりの大会8強入り!



2015年4月4日(土)・5日(日)、「HSBCセブズワールドシリーズ 東京セブズ2015」が秩父宮ラグビー場で行われ、ホームの日本で男子セブズ日本代表は15年ぶりとなる大会8強入りを果たしました。大会はイングランド代表の2014-2015シーズン初優勝で幕を閉じました。

世界最高峰のセブズ(7人制ラグビー)大会、セブズワールドシリーズ(SWS)の1大会として東京セブズが復活したのは2012年。今年4シーズン目を迎えた東京セブズ2015の主役は、男子セブズ日本代表チームでした。

昨シーズン、SWSに常に出場できるコアチームに昇格し、世界の豪強とシーズンを通して戦う権利を得た日本代表は、東京セブズを迎えるまでのSWS6大会を終えてわずか2勝、シリーズ総合ランキングも16チーム中15位と苦戦を続けていましたが、東京セブズではこれまでの経験を結果に結びつけました。大会1日目、日本代表は初戦のアルゼンチン代表を相手に、常に先行しながら試合を優位に進めたものの惜しくも引き分け。しかし第1試合からそのプレーでスタンドのファンを沸かせた日本代表は、続く第2戦のサモア戦でさらにスタンドのボルテージを上げました。

セブズ日本代表のエース、昨年日本国籍を取得した、レメキ・ロマノ・ラヴァ(Honda Heat)が試合開始1分も経たないうちに先制のトライ! その後大学3年生のスピードス

ター、松井千士(同志社大学)が2トライを奪うなど26-12でサモア代表に完勝。レメキの2トライ目はファンによる東京セブズベストトライにも選ばれました。続く第3戦のフランス代表にはあと一歩というところで逆転負けを喫してしまいましたが、プール戦2位で、15年ぶりとなる堂々の大会ベスト8入りを果たしました。

2日目も勢いに乗ってさらに上位進出を目指した日本代表でしたが、残念ながらフィジー代表、そしてスコットランド代表に敗れ、プレートトーナメント準決勝敗退という結果で大会を終えました。2日目に勝利を得ることはできませんでしたが、東京セブズ4シーズン目にして史上最高タイの成績を残した日本代表のプレーは、多くのファンの方にセブズの面白さと楽しさを伝えてくれたはずでした。

見事に優勝を飾ったのはイングランド代表。2014-2015シーズンはベスト8止まりが3度、決勝進出が1度、総合ランキング5位で東京セブズを迎えましたが、決勝でランキング1位の南アフリカを破り、堂々の優勝。今シーズンのSWS上位4位までに与えられる、リオデジャネイロオリンピック出場権を得る上で、イングランド代表にとって大きな優勝となりました。



### サクラセブズ国内初お披露目

ベスト8入りの活躍で大会を盛り上げた男子セブズ日本代表と一緒に、日本のファンの前でその雄姿を見せたのは、女子セブズ日本代表「サクラセブズ」でした。国内で初めてとなる国際試合をエキシビジョンマッチとして、オランダ代表と4試合を戦いました。



セブズが2016年のリオデジャネイロオリンピック、そして2020年の東京オリンピックの正式競技に決定した2009年以降、女子ラグビーは年々盛んになり、競技人口も増えてきていますが、実は国内で日本代表であるサクラセブズの試合が行われたことはありませんでした。

今回の対戦相手、オランダ代表は平均身長180cmを超えるなど体格でサクラセブズを大きく上回る、非常にフィジカルの強いチームです。体格の差を世界一の運動量で補うラグビーを目指すサクラセブズとは、世界大会でしのぎを削るライバルチームでもあります。

エキシビジョンマッチとはいえ、オリンピック出場を目指す両チームの4試合の真剣勝負の結果は、残念ながら1勝3敗でサクラセブズが負け越しました。しかし、高校生2名を含めたサクラセブズの活躍に、多くのファンの方から大きな声援をいただきました。

オリンピックの正式競技となったセブズ。男女セブズ日本代表は11月にリオデジャネイロオリンピックアジア予選に挑みます。

### Behind the Scene

東京セブズ2015に出場するのは16チーム。しかし秩父宮ラグビー場のロッカールームは4室。大会中は1室を4つに区切って使用しました。あらか

じめ公平にスペースを区切っていましたが、少しでも自チームに有利になるように、こっそりエリアを広げたりするチームもあり、ロッカー内でも静かな戦いが繰り広げられていました。一方で、通常は対戦する両チームが同じロッカーを使用することはないのですが、決勝で対戦したイングランド代表と南アフリカ代表は双方話し合いの末、同じロッカーで決勝までの時間を過ごしました。ロッカーの中は得も言われぬ緊張感に包まれたことでしょう。

また、チームによってはロッカールーム内で音楽を流し、試合前のテンションを上げたり、リラックスを促すのですが、流れてくる音楽は千差万別。アメリカやカナダはヒップ・ホップやR&B、ケニアや南アフリカはレゲエ、ヨーロッパの国はユーロビート、ラテン系の国はレゲトン、サモアやフィジーは試合終了後にアカペラでお祈りの歌……試合会場と同様にロッカー内も音楽にあふれています。

### セブズ=フェスティバル

今年の東京セブズも、スタンドや場内を盛り上げるイベントが行われ、ファンの皆さんのアイデアあふれるコスチュームが大会を彩りました。ウルトラセブン率いる「ウルトラセブズ」が会場で観客の皆さんをお出迎え。大会特別ゲストとして真矢みきさんも応援に駆け付け、場内では日本の代表的食文化の一つ、「味噌」の素晴らしさを伝える活動を行う「ミソガール」もオリジナルの衣装に身を包み、東京セブズを盛り上げてくれました。

フェスティバルとも言われるセブズ大会。秩父宮ラグビー場では国内のトップチームが集う「inゼリー ジャパンセブズ2015」が7月5日に行われます。セブズを楽しみたい方はぜひ会場にお越しください。





# スポーツ施設管理運営に関する調査報告レポート

第4回

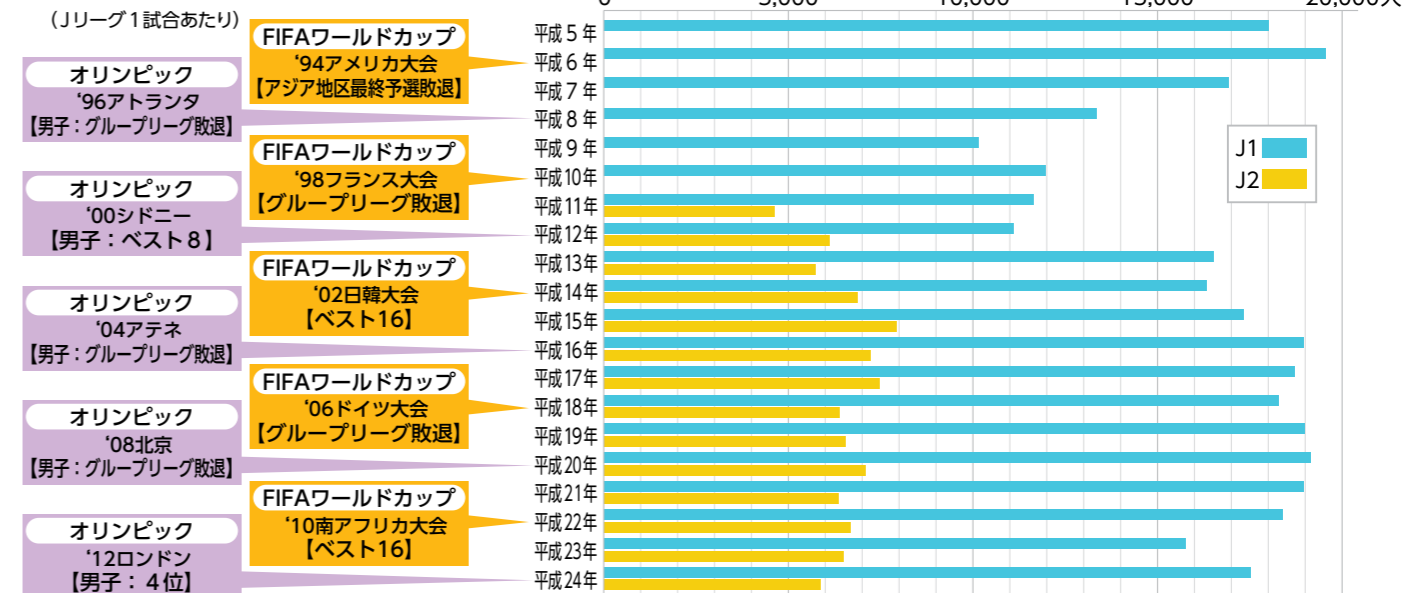
国立競技場事業課

国立競技場では、平成24年を「Jリーグ開幕」から20年、「2002FIFAワールドカップ(日韓共催)」から10年という、日本サッカー界における節目の年と位置付け、2002FIFAワールドカップ開催会場を対象とし、右のテーマに基づく調査研究を行いました。

スタジアムの変遷をたどることで、施設利用者、観客、地域社会等から求められるスポーツ施設のあり方を探り、またその結果を施設関係者・スポーツ関係者に提供することによって、施設改修や大規模スポーツ大会時の参考資料となるようにまとめました。

調査概要	
■テーマ	「Jリーグ開幕」及び「2002FIFAワールドカップ開催」からのスタジアムにおけるソフト面・ハード面の変遷を調査し、10年・20年の記録としてまとめる。
■期間	平成24年11月～平成25年3月
■対象	大分銀行ドーム／ノエビアスタジアム神戸／ヤンマースタジアム長居／エコパスタジアム／デンカビッグスワンスタジアム／日産スタジアム／埼玉スタジアム2002／茨城県立カシマサッカースタジアム／ひとめばれスタジアム宮城／札幌ドーム ※本調査で記載のスタジアム呼称等に関しては、平成27年6月時点アンケート及びヒアリング
■方法	本誌へ掲載(各回2スタジアム、計5回)
■調査報告	※「4 今後の展望と課題」は各スタジアムからの寄稿

## 年間入場者平均の推移



## サッカー界の変遷

まず、スタジアムの変遷をたどる上で重要な背景となる日本サッカー界の歴史について調査しました。右表は、過去24年間の日本サッカー界の歴史について主な出来事、トピックス等を年表にまとめたものです。

また、右上のグラフは、Jリーグ開幕からの年間入場者平均の推移を示したもので、人気の移り変わりを示しています。

これらの背景を踏まえた上で、各スタジアムの変遷について調査を行いました。

写真提供：日刊スポーツ新聞社



平成14年6月30日  
2002FIFAワールドカップ開幕セレモニー

	主な出来事	トピックス	Jリーグ以外の大規模大会
平成元年度～平成4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成元年 JFAが「プロリーグ準備検討委員会」設置。3年後にプロリーグ発足を目標とした。2002FIFAワールドカップ開催候補の意思表示、招致活動開始</li> <li>平成3年11月 社団法人日本プロサッカーリーグが正式に発足</li> <li>平成4年5月 Jリーグプレ開幕戦として第1回ヤマザキナビスコカップ開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成元年 Jリーグは、理念・活動方針として【日本サッカーの水準向上及びサッカーの普及促進/豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与/国際社会における交流及び親善への貢献】を掲げた。</li> <li>平成4年 天皇杯はJリーグ所属チームおよび9地域代表の全32チームに出場権が与えられた。</li> </ul>	
平成5年度～平成8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成5年 Jリーグ開幕(5月15日)。プロサッカー初のリーグ戦スタート(10クラブ)</li> <li>平成5年 FIFAワールドカップアメリカ大会 アジア地区最終予選敗退(ドーハの悲劇)</li> <li>平成8年 「Jリーグ百年構想」をキーワードとした広報活動開始</li> <li>平成8年5月 2002FIFAワールドカップ日韓共催決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成5年 Jリーグ開幕(5月15日)。国立競技場に59,626人が来場した。この日のチケットは抽選制で、チケットには購入者の名前が刻印され、記念となるように考案された。</li> <li>公認グッズ店が爆発的人気・チャホーンによる騒音問題が表面化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年 アトランタオリンピック(男子：グループリーグ敗退/女子：グループリーグ敗退)</li> </ul>
平成9年度～平成12年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成10年 FIFAワールドカップフランス大会に日本初出場</li> <li>平成11年 J1、J2の1・2部制開始</li> <li>平成12年 FIFAクラブ世界選手権2000(第1回大会)開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成9年 日本初のサッカーナショナルトレーニングセンター「ヴィレッジ」が福島にオープン</li> <li>平成11年10月 横浜マリノスと横浜フリューゲルスが合併。他のクラブでも出資企業が撤退するなど、メディアではクラブの経営危機が喧伝された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成10年 FIFAワールドカップフランス大会(グループリーグ敗退)</li> <li>平成12年 シドニーオリンピック(男子：ベスト8)</li> </ul>
平成13年度～平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年 toto(スポーツ振興投票)の導入開始</li> <li>平成14年 FIFAワールドカップを日本と韓国が共同開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年 選手育成プロジェクトとして「Jリーグアカデミー」、選手のセカンドキャリアの支援として「Jリーグキャリアサポートセンター」を始める。</li> <li>平成15年 「Jリーグ百年構想」の一環で、芝生をモチーフにした「Mr.ピッチ」によるプロモーションを展開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年 FIFAワールドカップ日韓大会(ベスト16)</li> <li>平成16年 アテネオリンピック(男子：グループリーグ敗退/女子：ベスト8)</li> </ul>
平成17年度～平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年 J1が2ステージ制から1ステージ制へ</li> <li>平成18年 FIFAワールドカップドイツ大会に日本代表出場</li> <li>平成19年 FIFAクラブワールドカップで浦和レッズ3位</li> <li>平成20年 FIFAクラブワールドカップでガンバ大阪3位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年 エリート育成機関「JFAアカデミー福島」開校</li> <li>平成19年 イレブンミリオンプロジェクト開始。「2010年シーズンに年間1100万人の観衆を集めよう」という目標を掲げ、キャンペーンを展開。※結果、総入場者は864万5762人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年 FIFAワールドカップドイツ大会(グループリーグ敗退)</li> <li>平成20年 北京オリンピック(男子：グループリーグ敗退/女子：4位)</li> </ul>
平成21年度～平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年 FIFAワールドカップ南アフリカに日本代表出場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年3月 Jリーグ公式試合通算入場者数が1億人を突破</li> <li>平成24年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>Jリーグクラブライセンス制度施行</li> <li>公益社団法人日本プロサッカーリーグに移行</li> <li>Jリーグ20周年特別企画 開幕戦をネット放送</li> <li>J1昇格プレーオフ、J2・JFL入替戦制度</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年 FIFAワールドカップ南アフリカ大会(ベスト16)</li> <li>平成23年 FIFA女子ワールドカップドイツ大会(優勝)</li> <li>平成24年 ロンドンオリンピック(男子：4位/女子：銀メダル)</li> </ul>

※年表中のチーム名に関しては、当時の名称にて表記しています。



# 調査対象スタジアム

(2002FIFAワールドカップ開催スタジアム)

## 掲載順

- 第1回……大分銀行ドーム  
(Vol.603掲載) ノエビアスタジアム神戸
- 第2回……ヤンマースタジアム長居  
(Vol.604掲載) エコパスタジアム
- 第3回……デンカビッグスワンススタジアム  
(Vol.605掲載) 日産スタジアム
- 第4回……埼玉スタジアム2002  
(今回掲載) 茨城県立カシマサッカースタジアム
- 第5回……ひとめぼれスタジアム宮城  
札幌ドーム

## デンカビッグスワンススタジアム

- 開 場：平成13年 ●収容人員：42,300名
- 所 有 者：新潟県
- グループL 6/1 アイルランド×カメルーン (1-1)
- グループL 6/3 クロアチア×メキシコ (0-1)
- 決勝T 6/15 デンマーク×イングランド (0-3)

## ヤンマースタジアム長居

- 開 場：昭和39年 ●収容人員：47,816名
- 所 有 者：大阪市
- グループL 6/12 ナイジェリア×イングランド (0-0)
- グループL 6/14 チュニジア×日本 (0-2)
- 決勝T 6/22 セネガル×トルコ (0-1)

## ノエビアスタジアム神戸

- 開 場：平成13年 ●収容人員：30,132名
- 所 有 者：神戸市
- グループL 6/5 ロシア×チュニジア (2-0)
- グループL 6/7 スウェーデン×ナイジェリア (2-1)
- 決勝T 6/17 ブラジル×ベルギー (2-0)

## 大分銀行ドーム

- 開 場：平成13年 ●収容人員：40,000名
- 所 有 者：大分県
- グループL 6/10 チュニジア×ベルギー (1-1)
- グループL 6/13 メキシコ×イタリア (1-1)
- 決勝T 6/16 スウェーデン×セネガル (1-2)

## エコパスタジアム

- 開 場：平成13年 ●収容人員：50,889名
- 所 有 者：静岡県
- グループL 6/11 カメルーン×ドイツ (0-2)
- グループL 6/14 ベルギー×ロシア (3-2)
- 決勝T 6/21 イングランド×ブラジル (1-2)

## 日産スタジアム

- 開 場：平成10年 ●収容人員：72,327名
- 所 有 者：横浜市
- グループL 6/9 日本×ロシア (1-0)
- グループL 6/11 サウジアラビア×アイルランド (0-3)
- グループL 6/13 エクアドル×クロアチア (1-0)
- 決勝T 6/30 ブラジル×ドイツ (2-0)

## 札幌ドーム

- 開 場：平成13年 ●収容人員：53,738名
- 所 有 者：札幌市
- グループL 6/1 ドイツ×サウジアラビア (8-0)
- グループL 6/3 イタリア×エクアドル (2-0)
- グループL 6/7 アルゼンチン×イングランド (0-1)

## ひとめぼれスタジアム宮城

- 開 場：平成12年 ●収容人員：49,000名
- 所 有 者：宮城県
- グループL 6/9 メキシコ×エクアドル (2-1)
- グループL 6/12 スウェーデン×アルゼンチン (1-1)
- 決勝T 6/18 日本×トルコ (0-1)

## 茨城県立カシマサッカースタジアム

- 開 場：平成5年 ●収容人員：40,728名
- 所 有 者：茨城県
- グループL 6/2 アルゼンチン×ナイジェリア (1-0)
- グループL 6/5 ドイツ×アイルランド (1-1)
- グループL 6/8 イタリア×クロアチア (1-2)

## 埼玉スタジアム2002

- 開 場：平成13年 ●収容人員：63,700名
- 所 有 者：埼玉県
- グループL 6/2 イングランド×スウェーデン (1-1)
- グループL 6/4 日本×ベルギー (2-2)
- グループL 6/6 カメルーン×サウジアラビア (1-0)
- 決勝T 6/26 ブラジル×トルコ (1-0)

- 今回掲載スタジアム
- 次回掲載スタジアム



# 埼玉スタジアム2002

所有者：埼玉県

管理運営者：公益財団法人埼玉県公園緑地協会

所在地：〒336-0972 埼玉県さいたま市緑区中野田500

## ●特徴

アジア最大級・日本最大のサッカー専用スタジアムで63,700人の収容が可能なスタジアムである。メインスタンドからゴールラインまで19mとピッチまでの距離が近く、観客は臨場感を味わうことができる。

こけら落としは浦和レッズvs横浜F・マリノス戦で、この観客数60,553名は当時のJリーグ新記録となった。

## ●競技場概要

開場：平成13年

建設費：356億円

スタンド・構造：地上5階、  
地下1階（一部地上6階）、  
固定式屋根

収容人員：63,700名

芝生：ケンタッキーブルーグラス、トール  
フェスク、ペレニアルライグラス

付帯施設：レストブラザ

## ●開催実績

・キリンチャレンジカップ（平成13・15・17～20・22年）

・2002FIFAワールドカップ（平成14年）

グループリーグ：6月2日

イングランドvsスウェーデン（1-1）

グループリーグ：6月4日

日本vsベルギー（2-2）

グループリーグ：6月6日

カメルーンvsサウジアラビア（1-0）

決勝トーナメント：6月26日

ブラジルvsトルコ（1-0）

・アテネオリンピックアジア予選（平成15年）

・第59回国民体育大会「彩の国まごころ国体」（平成16年）

・AFCチャンピオンズリーグ決勝（平成19年）

・2006FIFAワールドカップ・アジア予選（平成17年）

・2010FIFAワールドカップ・アジア予選（平成21年）

・2014FIFAワールドカップ・アジア予選（平成25年）

## ●コンサート実施回数（平成25年度まで）

※メインスタジアムでの開催なし

## 1 建設からFIFAワールドカップ開催までの歴史

～最新設備と機能を備え美しさをも評価された、

アジア最大級サッカー専用スタジアム～

平成8年にワールドカップ日韓共同開催が決定されると、サッカー王国・静岡県と並び立つサッカーどころである埼玉県さいたま市に6万人規模のスタジアムを新設することが決定した。準決勝開催が決まり、決勝戦も埼玉スタジアムで開催するよう166万人の署名とともに要望を出した。結果はかなわずだったが、埼玉県人口698万人（さいたま市103万人）の中で166万人の署名を集めたことはワールドカップへの期待の大きさを表した格好となった。こうして埼玉スタジアム2002は、「21世紀を担う青少年に夢と希望を与え、サッカー王国埼玉をサッカーのメッカとし、そして防災支援施設として活用する」ことを基本理念とし、平成13年に完成した。

スタジアムは震度7クラスの大地震にも耐えられる構造となっており、雨水貯留槽の水は芝散水やトイレ洗浄水、冷却塔補給水に活用されている。災害発生時には、3,000名が1か月避難可能な浄水として利用できるようになっており、2,200㎡の備蓄倉庫もある。太陽光発電設備も整い日中の電気を賅っている。大災害の発生など、万一の避難の際にも6万人が13分間で避難できる計画が策定された。ピッチ地下には、全長約42kmのパイプを埋設し、冷温水での地温コントロールシステムを導入している。

ワールドカップ開催準備期間中は、埼玉県が県警察と協議し、シャトルバス・大会関係車両等の動線を分離す



上に多かったものの、近くの駅は浦和美園駅のみのため、試合終了後の混雑緩和・集中回避は今後の課題にもなった。

6月4日は日本の初戦となったベルギー戦で、会場内外は異様な熱気に包まれた。準決勝では、5度目の優勝を目指すブラジルと、セカンドラウンド1回戦で日本を破ったトルコとの対戦となった。

## 2 FIFAワールドカップ開催後から現在に至るまでの施設の変化

～最新機能を備えた埼玉スタジアム～

### (1) 施設設備

#### a スタンド

- トラックの改修
- メインスタンド段床部防水シーリング打ち替え（平成20年）
- 2階コンコース床の防水トップコート塗り替え・デッキの塗膜防水工事（平成20年）
- 屋根金属部分断熱材補修工事・防鳥ネット新設（平成20・22年）
- スタジアムツアー客が増えたことにより、防犯カメラを7台増設（平成20年）
- 誘導灯LED化（平成21年）
- デッキスロープ部分塗膜防水新設（平成23年）
- 2階コンコース、すべり止め対策のためのトップコート塗装（平成24年）
- 観客用トイレ改修126箇所洋式化（平成22年）

#### b 新設・改修

- 第2グラウンドクラブハウス新築（平成17年）
- 第2グラウンド観覧席新築（平成18年）
- 北広場コンセント盤設置・給水設備設置（平成18年）
- 歩行者専用ウェルカムゲート新設（平成18年）
- チームハウス外壁補修、内装補修（平成24年）
- 大型映像装置2基改修（平成24年）
- 広告スペースとしても活用できるように、帯状映像装置5基設置（平成25年）
- 屋外型映像装置 スクリーン1基設置（平成25年）

### (2) 環境・エコ

環境分野においても最先端の取り組みを目指し、埼玉スタジアム2002公園が「街のエネルギーセンター」となるべく、さまざまな取り組みをしている。

- 紙コップリサイクル事業化  
※回収率74%（平成18年）
- 開場時から、クラブハウス・案内所・トイレ・スタジアム壁画・駐車場等各所に、太陽光発電装置を設置。園地照明や昼間電力に利用
- 雨水貯留槽を設置し、芝散水、トイレ洗浄水、冷却塔補給水に活用
- 芝リサイクルペーパー事業として、大学研究所や民間企業と協力し、廃棄処分する芝生ゴミをバルブ化しリサイクルペーパーとして活用するなど新たな資源循環スタイルへ挑戦している
- クラブハウスに太陽熱温水装置を設置（平成26年度）

### (3) 芝

- 第2、第3グラウンド併用開始（平成15年）
- ゴール前、ラインズマン走行部分芝張り（平成15年以降毎年）
- メインピッチ砂床の透水性悪化のため、更新作業の方法見直し（平成15年）
- Jリーグアウォーズで「ベストピッチ賞」を受賞（平成17・21・25年）



# 茨城県立カシマサッカースタジアム

所有者：茨城県  
 管理運営者：株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー  
 所在地：〒314-0007  
 茨城県鹿嶋市神向寺26-2



## ●特徴

平成5年、日本初の全席個室の屋根付きサッカー専用スタジアム(収容15,870席)として建設された。2002FIFAワールドカップ開催のため、特徴的なウェーブ状の屋根を持つ、41,800席(当時)の2層式スタジアムに生まれ変わった。スタンドには適度な傾斜がつけられ、観客席のどの位置からも観戦しやすいよう工夫される等、サッカー専用スタジアムでしか味わうことのできない臨場感溢れる造りとなっている。

## ●競技場概要

開場：平成5年5月  
 建設費：193億円(改修費)  
 形態：屋根付サッカー専用  
 構造：鉄筋コンクリート造+鉄骨鉄筋コンクリート造+鉄骨造地上6階建て  
 観客席：2層式スタンド  
 収容人員：40,728名(車椅子席140席を含む)(W杯時：41,800名)  
 芝生面積：7,597㎡(115m×78m)  
 芝生：ケンタッキーブルーグラス  
 帯状映像装置：LED ribbon display(2階スタンド/500m)  
 付帯施設：カシマサッカーミュージアム、カシマウェルネスプラザ

## ●開催実績

- ・Jリーグ開幕戦(平成5年) 鹿島アントラーズvs名古屋グランパス
- ・FIFAコンフェデレーションカップ2001(平成13年)
- ・2002FIFAワールドカップ(平成14年)  
 グループリーグ：6月2日 アルゼンチンvsナイジェリア(1-0)  
 グループリーグ：6月5日 ドイツvsアイルランド(1-1)  
 グループリーグ：6月8日 イタリアvsクロアチア(1-2)
- ・震災復興チャリティーイベント SMILE AGAIN ~YELL FROM KASHIMA~(平成23年)

## ●コンサート実施回数……1回

(平成25年度まで)

- ・震災復興チャリティーコンサート SMILE AGAIN II~SONG OF HOPE~(平成23年)

# 1 建設からFIFAワールドカップ開催までの歴史

～日本リーグからJリーグ……そしてワールドカップの舞台へ～

茨城県立カシマサッカースタジアムは平成5年、日本初の全席個室屋根付の本格的なサッカー専用スタジアム(当時収容15,870席)として誕生した。スタジアム建設構想がスタートしたのは、日本でプロサッカーリーグを創設しようという動きが具体化した平成2年。当時、住友金属蹴球団は日本サッカーリーグ2部、ホームスタジアムとしていた多目的グラウンドは5,000名の収容。実力的にも設備的にもプロリーグへの参加は困難と見られていたため、川淵プロリーグ設立準備室長(当

時)にJリーグ初年度の加入を陳情に行った際、「住友金属(鹿島アントラーズの母体)のJリーグ初年度加入は99.9999%無理だが、日本で初めての屋根付専用スタジアムでもできれば話は別」と言われたことを受け、スタジアム建設構想を支援する茨城県が、ト伝の郷運動公園内にJリーグ規格を満たすスタジアムの建設を決定した。関係者の熱意が実り、晴れて平成4年2月にはJリーグ参加の10チームに選定された。

平成8年12月には、2002FIFAワールドカップ開催



## (4) その他

- 言語サイン化(英語・中国語・ハングル)
- 常用発電機(750kw×2基)エンジンオーバーホール(平成20年)
- 防犯カメラ20台更新(平成22年)
- 防犯カメラ9台更新(平成23年)
- 大屋根音響設備(スピーカー・アンプ)修繕(平成23年)

# 3 ソフト面の変化、地域・チームとの関係性

～圧倒的な観客動員を誇る浦和レッズとの共存～

スタジアム開場から平成14年まではワールドカップとの兼ね合いで、浦和レッズ戦は年間5～6試合にとどまっていたが、平成15年にレッズのホームスタジアムとして登録されたことで、ヤマザキナビスコカップを含め主催試合数を徐々に増やしていった。平成17年に浦和レッズは本社機能の一部をスタジアム内に移転して、平成22年からはリーグ戦全試合を開催。平成25年からは駒場スタジアムのホームスタジアム指定を取消し、埼玉スタジアム2002のみとなった。平成18年J1最終節でリーグ優勝がかかったガンバ大阪との直接対決で初優勝を決め、この試合の観客数62,241名は当時のJ1リーグ戦における史上最多観客動員となった。現在は浦和レッズ主催者試合では、1試合平均が43,781名(平成13～24年での平均)となっており、圧倒的な動員数を誇っている。

試合時、入場門前広場にはフードコート、浦和美園駅からスタジアムまでの道沿いには多くの屋台が出店して、飲食面での充実が図られている。また、試合終了後にはスタジアムのグルメゾーンが「アフターゲームレッズバー」として、90分間オープンし、帰宅客の集中を回避するための工夫がなされている。

レッズホームゲーム・日本代表戦の際は北側スタンドがホーム側サポーター席となり、大宮アルディージャがホームとして使用する場合は南側スタンド(浦和美園駅

側)がホーム側サポーター席となっていた。飲食売店では、埼玉スタジアム2002直営の10ヶ所と、浦和レッズが運営をしている16ヶ所の合計26ヶ所が設置されており、飲食サービスの充実が図られている。スタジアム直営店舗を持つことで、販売データを蓄積し、各店舗へノウハウをフィードバックすることでよりよい観客サービスへと繋げている。

サッカー以外の使用については、ゴールラインとスタンドの距離が近いためラグビーやアメリカンフットボールの開催は行われていない。コンサート利用は構造的には可能だが、芝生保護の観点からピッチ上でのステージ設置などを見合せており、現在まで開催実績はない。一方、スタジアム公園ではフリーマーケットや展示会などサッカー以外のイベントも開催されており、結婚式(スタジアムウェディング)なども行われている。自主事業として、スタジアムツアー・埼玉スタジアム大会・埼玉スタジアムサッカー・夕涼みフェアなどにも取り組んでいる。

平成24年に県内初の地上一般放送局の免許を受け、ワンセグエリア放送を「埼玉スタTV」という愛称で実施しており、大会情報や防災情報発信ツールやスポンサー販促ツールとして、活用されている。今後商業化していくことを検討している。

係団体との連携を密に、開催に向けた準備を進めていく。

日韓共催の2002FIFAワールドカップが開催された当スタジアムが、オリンピックというもう一つの世界的な大会の試合会場となることを誇りに、数多くの国際試合で培った経験を活かし、開催への準備に取り組んでいきたい。

# 4 今後の展望と課題

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、埼玉スタジアム2002がサッカーの試合会場の一つとして予定されている。この記念すべき大会をより素晴らしいものにし、サッカー王国・埼玉と埼玉スタジアム2002の名を広く世界に発信できるまたとない機会として、組織委員会や埼玉県、日本サッカー協会等の関





会場にカシマサッカースタジアムが選定されたことを受け、平成10年から、ワールドカップスタジアムでは国内唯一の既存のスタジアムを生かした改修工事を行った。約3年の年月をかけて、既存屋根の取り外し、2階席新設工事、大型映像装置設置、芝生の全面張り替え（Jリーグ公式戦使用スタジアムとしては国内初のフィールド内散水用スプリンクラー、アンダーヒーティング方式を採用）、屋根の架け替え工事等を行っている。

なかでも特徴的なことは、既存のスタジアムからメインスタンドとバックスタンドを入れ替え、バックスタンドの1階最前列に車椅子席100席、最上列に40席を増設し、身体障害者用トイレも16ヵ所設置したことだ。ス

ロープ・エレベーター等の設置、男子トイレより女子トイレの数を多くするなど、老若男女に快適な観戦環境を提供している。

改修工事中もカシマサッカースタジアムで鹿島アントラーズのホームゲームを見たいという地元の強い要望により、平成11年の2ndステージから平成12年の2ndステージの第9節までの計19試合が開催された。ここに、茨城県のサッカー熱の高さが表れている。

また、サッカー専用スタジアムの特性を生かすため傾斜角を1階席29度、2階席を33度に設定し、前列の人を気にすることなく「全席最前列」の感覚で、どの席からもゆったり観戦でき、スタンドとフィールドの一体感を得られるよう工夫されている。

このようにして、日本リーグからJリーグ、ワールドカップの舞台へと着実に階段を上がると共に、地域のシンボルとして相応しいスタジアムが平成13年、誕生した。

## 2 FIFAワールドカップ開催後から現在に至るまでの施設の変化

ワールドカップ後の利活用を踏まえ、観戦者の快適性をより高めるための工夫を随所に施している。

### ■平成15年

- ワールドカップ用に設置した1階スタンドの最前列の座席を撤去（収容人員：40,728名）
- コンコースにキッズルーム（1ヵ所）を設置

### ■平成16年

- カシマサッカーミュージアムがオープン（4月）

### ■平成18年

- 鹿島アントラーズ・エフ・シーが指定管理者となる（4月）
- スポーツジム「カシマウェルネスプラザ」を開設（10月）

### ■平成20年

- 2階スタンド最前部にアジア最長のLED帯状映像装置（1m×500m）を設置

### ■平成22年

- 1階席の座席をリサイクル可能な素材を使った座席へ更新
- 一部の座席にはサイドテーブル・跳ね上げ式を採用。メイン・バックスタンドの1階全席にカップホルダーを設置
- ピッチの周囲に廃タイヤなどのリサイクルゴムチップを埋め込み、環境にも配慮

- スタジアム内監視カメラの更新

### ■平成24年

- バックスタンド1階席にVIEW BOXを設置
- 公衆無線LANサービス（Wi-Fi SPOT/UQ WiMAX）の提供を開始

### ■平成25年

- ワールドカップ以来11年ぶりの芝生全面張り替え工事（排水管の更新含む）
- Jリーグホームスタジアムでは初となるTV中継設備（スタジオ）を構築

### 【東日本大震災】

未曾有の被害に見舞われた東日本大震災はカシマサッカースタジアムにも被害をもたらした。

Jリーグ中断期間明けから5月のホームゲームは県外を使用したのが、屋根の落下危険物の除去、スタンド部分の補修、既存の照明設備を2階スタンドの各コーナー4ヵ所に設置する等の応急工事を実施し、使用可能観客席を34,000席に減らしながらも、6月以降のホームゲームを実施した。

応急工事を終えた直後の6月4日には震災復興チャリティーイベント SMILE AGAIN ～YELL FROM KASHIMA～、8月11日には震災復興チャリティーコンサート SMILE AGAIN II ～SONG OF HOPE～を開催し、被災地にメッセージやエネルギーを届けた。



本格工事は12月から翌年の2月にかけて行われた。クレーン進入部分付近の芝生を移設する等、新シーズ

ンに影響の出ないよう工夫をしながら工事を実施し、開幕を迎えた。

## 3 ソフト面の変化・チームとの関係性

～指定管理者鹿島アントラーズとして～

平成18年4月から鹿島アントラーズ・エフ・シーが指定管理者に選定されたことを受け、平成3年のクラブ創設以来、胸に抱いていた「FOOTBALL DREAM.サッカーというスポーツを足がかりに、いろんな人の、いろんな夢をかなえていきたい」という夢を実現するために、「THE DREAM BOX.カシマサッカースタジアム」を活動理念として「サッカー」という枠を超えた、「スタジアム」という枠を超えた、新たな一歩を踏み出した。

その取り組みとして、「カシマウェルネスプラザ」がある。利用者に健康増進のためのプログラムが生まれ、フィットネスマシンを使用した運動やスタジアム3階コンコースでのウォーキングなどが楽しめる。インストラクターが常駐し、初心者でも安心して指導が受けられる。また、平成19年からは厚生労働省からの委託事業（鹿島アントラーズへの委託者は鹿嶋市）を実施している。

カシマサッカーミュージアムは、2002FIFAワールドカップやこれまで鹿島アントラーズが獲得した多くの優勝カップ等のメモリアルグッズを多数展示、過去のゴールシーンを見ることができると共にサッカーファンが大いに楽しめる内容となっている。

そのほかにも夏季には、試合日を除く毎週木金土曜日にビアガーデンの開設、バックステージツアー等を行うなど、多数の独自事業の展開をしている。

観戦者参加型エコプログラムにも力を入れており、平成18年Jリーグの試合で使用する電力をグリーン化、ご

みゼロナビゲーション（ごみの分別回収:エコステーション11ヵ所）/リユース食器（9,600個）、リユースカップ（20店舗でデポジット制@100 6,384個）、「食用油でチームトラックを動かそう！」プロジェクトで「第3回 COOL BIZ OF THE YEAR 2009」の部門賞である「クールビズ・アース2009」を受賞している。

平成21年夏からスカパー！で放送されているオフィシャル番組「アントラーズ・レポート」の制作を開始。制作は全てクラブ関係者が行い、スタジアム内にスタジオシステムを設置した平成22年からはスカパー！で放送されるホームゲームの中継も制作。ロッカールームの近くまでカメラを入れ、試合に臨む選手たちの声をレポートするなど鹿島アントラーズならではの演出で盛り上げている。スタジオシステムの採用により、中継車の導入が不要となるほか、スタジアムコンテンツを積極的に放送・配信できる。

ユニークなネーミングライツも導入しており、平成18年に2ゲートを住友金属ゲート（現在は新日鐵住金ゲート）、平成19年に1ゲートを常陽銀行ゲート（現在は1ゲート）としてネーミングライツ契約を締結している。

また、新しい形の観戦スタイルの提案として、平成17年に個室と観戦席がバックになり、ドリンク・食事のサービスを各BOXの専用スタッフが担当する『SUITE BOX』を設置、平成23年にプライベートスペースが確保されたペアBOXから大人数で観戦できる広いスペースを確保した4種類の『VIEW BOX』を設置した。

## 4 今後の展望と課題

運営面では平成27年度から、新設スペースでのモール事業を展開する予定。整形外科のクリニックやカフェレストラン、スポーツマッサージなどが入居予定で、新たな利活用方法として考えている。特に既存のカシマサッカーミュージアムやカシマウェルネスプラザの利用

が増えるなど、様々な波及効果が生まれることを期待している。将来的には休日、平日を問わず、地域のコミュニケーションの場として人々がスタジアムに集い、利用していただく施設にしていきたいと考えている。



## 代々木第一体育館

コンサート	JUJU 10th Anniversary Act #06 JUJU ARENA TOUR 2015 -ジュジュ苑 10th Anniversary Special- (7/4,5)
コンサート	「アドベンチャーズ」KTM TOUR 2015 シモネティーナと4人の賢者 ~失われた聖水を取り戻せ~ (7/11,12)
アイスショー	ディズニー・オン・アイス 「アメイジング アニバーサリー」 (7/18-22)
レスリング	全国少年少女レスリング選手権 (7/24-26)
その他	a-nation island (7/31)
その他	a-nation island (8/1-8/6)
コンサート	SUNSTAR presents J-WAVE LIVE SUMMER JAM 2015 (8/8-9)
バレーボール	FIVBワールドカップ2015 女子大会 (8/22-24,26-27)
チャリーディング	JAPAN CUP 2015 日本選手権大会 (8/28-30)
コンサート	UVERworld 結成15周年&デビュー10周年記念LIVE (9/2-3)
コンサート	UVERworld QUEEN'S PARTY(女祭り) (9/5-6)
展示会	rooms31 (9/9-11)
バレーボール	FIVBワールドカップ2015 男子大会 (9/21-23)

## 味の素フィールド西が丘

サッカー	第20回東京都トーナメント 準決勝 (8/20) 決勝 (8/23)
サッカー	2015プレナスなでしこリーグ1部 第14節 日テレ・ベレーザ vs ベガルタ仙台レディース (9/6) 第16節 日テレ・ベレーザ vs 浦和レッドダイヤモンズレディース (9/19)
サッカー	明治安田生命J2リーグ 第32節 東京ヴェルディ vs V・ファーレン長崎 (9/20)

## 代々木第二体育館

格闘技	K-1 WORLD GP 2015~ -70kg初代王座決定トーナメント (7/4)
空手	2015全関東空手道選手権大会 (7/5)
空手	第16回松涛連盟全国空手道選手権大会・ 第16回全国車椅子空手道選手権大会 (7/18-19)
空手	平成27年度全日本空手道剛柔会全国大会 (7/25)
バスケ	平成27年度関東実業団バスケットボールリーグ戦 (7/26)
その他	a-nation island (7/31)
その他	a-nation island (8/1-8/6)
空手	第35回全国空手道選手権大会 (8/8-9)
ダンス	第3回全日本小中学生ダンスコンクール (9/12)
卓球	関東学生卓球秋季リーグ戦 (9/14-15)

## 秩父宮ラグビー場

ラグビー	inゼリー ジャパンセブンズ2015 (7/5)
その他	日刊スポーツ主催 東日本大震災復興チャリティー 2015 神宮外苑花火大会 (8/11) (予備日8/12)
ラグビー	リポビタンDチャレンジカップ2015 日本代表 vs 世界選抜 (World XV) (8/15) 日本代表 vs ウルグアイ代表 (8/29)
ラグビー	ジャパンラグビー トップリーグ プレシーズンリーグ2015 NTTコム vs NTTドコモ (9/4) キヤノン vs 豊田自動織機/パナソニック vs Honda (9/5) クボタ vs NTTコム (9/11) リコー vs キヤノン (9/18) NEC vs パナソニック/サントリー vs コカ・コーラ (9/19)
ラグビー	ジャパンラグビー トップリーグ ディビジョン1 ヤクルト vs 栗田工業/東京ガス vs 秋田ノーザンブレッツ (9/20) 東京ガス vs セコム/ヤクルト vs 三菱重工相模原 (9/26)
ラグビー	関東大学対抗戦・関東大学リーグ戦 立教大学 vs 早稲田大学 (9/6) 慶應義塾大学 vs 筑波大学 (9/13) 拓殖大学 vs 東海大学/帝京大学 vs 青山学院大学 (9/22) 帝京大学 vs 立教大学 (9/27)

スケジュールは変更になる場合がありますので、ウェブサイト等で必ずご確認ください。

<http://www.jpnsport.go.jp>

好評につき、

## 国立競技場の芝生の再販売を実施中！

ご購入の方には、シリアルナンバー入り記念プレートも付いてきます（数量限定）。

詳細はSAYONARA国立競技場プロジェクト特設ページ  
(<http://www.jpnsport.go.jp/SAYONARA/>) まで

販売受付 8月31日(月) 23:59まで



国立代々木競技場 (☎ 03-3468-1171) 秩父宮ラグビー場 (☎ 03-3401-3881)  
味の素フィールド西が丘 (国立スポーツ科学センター) (☎ 03-5963-0203)

### 【編集後記】

これまで様々なスポーツ・コンサートなどのイベントを開催してきた国立競技場のとりこわし工事が始まり、新たなスタジアム建設への一歩を踏み出しました。工事の光景を見ていると、これまで数多くのイベントを開催し賑わいを見せていたスタジアムが懐かしく感じられます。しかし、国立代々木競技場、秩父宮ラグビー場、味の素フィールド西が丘では、これまで同様、様々なスポーツイベントなどが開催され、多数の方々にご利用・ご来場いただいています。今後も、JSCが運営する施設に対しご愛顧いただきますよう、よろしくお願いたします。(I)

## 国立競技場 第606号

2015年7月1日発行

●編集・発行

独立行政法人日本スポーツ振興センター 広報室

〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35

tel 03-5410-9121

●編集協力 株式会社ジャニス

